

# 兵庫県立丹波医療センターの紹介

兵庫県立丹波医療センター 院長 西崎 朗 (S58卒)



兵庫県立丹波医療センター(TMC)は2019年7月に設立された新病院です。TMCのある丹波市は中兵庫に位置し、神戸市から車で1時間余り。丹波の栗・黒豆・米や丹波杜氏による日本酒・鹿肉料理や牡丹鍋など食材も豊富で、四季折々の桜・蛍・紅葉・雪とともに食を楽しむことができます。

圏域人口は約10万人で、高齢化率は36%です。病床数は320床(急性期208床、地域包括ケア45床、回復期リハビリ45床、緩和ケア22床)で、27診療科。地域医療支援病院で地域がん連携・災害・救急の拠点であり、圏域の中核となっています。

また、一般総合病院の機能に加え、他の県立病院にない4つの特徴があります。1)丹波市健康センターミルネと丹波市立看護専門学校が同一敷地内にあり、TMC職員が診療や教育に参画しています。2)地域包括ケア・回復リハビリの病棟を併せ持ち、高齢者医療を先取りした病棟運営を行っています。3)ミルネから在宅医療を展開し、入院から在宅までシームレスな医療を行っています。4)予防医療として、神戸大学とタイアップし国家的プロジェクト「コグニケア」により、認知症予防を行い健康寿命の延伸を図っています。

医学教育にも力を入れており、初期研修医は1学年8名計16名で毎年フルマッチ。後期研修医も増加し2022年度は18名でした。学会発表や論文作成も盛んで、内科学会近畿地方会の2022年度発表数は兵庫県第3位、内科学会総会では毎年研修医が優秀演題賞を受賞し、近い距離感での熱意ある指導で人気の病院になっています。

今後も、医療人を育て丹波そして兵庫の医療に貢献したいと考えています。ウィズコロナ・アフターコロナ時代の医療につき、引き続き皆様のご見識等賜りますよう、ご指導の程よろしくお願いたします。



西面・中庭鳥瞰



健康広場と中庭 夜景



病院棟 1階 中央待合ホール